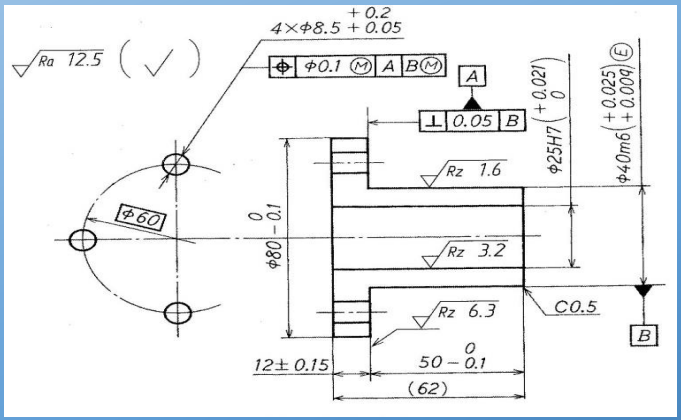
機械系　“在職者のための” 能力開発セミナーのご案内

最大実体公差方式の解釈と活用演習

＜幾何公差方式 ”MMR”を徹底活用して 加工・測定コストを大幅削減をしよう＞



受講料 11,500円（税込）

募集定員 10名

申込〆切 6月27日（木）

※先着順となります

お申込みはお早目にお願いします

コース番号	実施日
9 M061	7月11日（木）　9：00～16：00 7月12日（金）　9：00～16：00

申込用紙など詳しくはＱＲコードから

内　容

「最大実体公差方式」は、幾何公差方式を発展させた優れた規格です。これを図面に適用すると、サイズ公差(旧寸法公差）の余裕分を幾何公差に付加できるので加工が容易になり、不良品が減ります。さらに「機能ゲージ」を用いて、加工品が良品か不良品かの判別が容易に、しかも全数検査できます。これにより測定コストを大幅に削減できます。そんな良い事づくめの最大実体公差方式について、演習問題を解きながら詳しく学びます。そして最後に、幾何公差の表示と解釈をさらに進化させた将来のJIS規格について学びます。

機械設計・機械製図に関する基礎知識をお持ちの方が対象のコースです。

1．「最大実体公差方式」とは？
2．「動的公差線図」で公差を見える化する
3．「機能ゲージ」で部品を全数検査する
4．「最大実体公差方式」で測定コストを大幅に削減する
5．３Ｄモデルによる幾何公差の検証
6．幾何公差の表示と解釈を確実にする新しい規格
7．演習問題

持ち物　筆記用具

会　場　ポリテクセンター松本　※敷地内に無料駐車場ございます

らしく、はたらく、ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　長野支部
長野職業能力開発促進センター松本訓練センター

ポリテクセンター松本

〒399-0011　長野県松本市寿北7―17―1
Tel. 0263-58-3392
ポリテクセンタ松本　能力開発セミナー　検索